

はじめに

2020年初めから国内でも始まったコロナ禍以降、社会慣習は大きく変わり、患者の受診行動にも影響が出ています。日本対がん協会の調査によれば、5大がん（胃・大腸・肺・乳・子宮頸）検診は、2020年4月・5月に前年同期の2割未満にまで落ち込み、その後、回復傾向にあるものの7月時点でも6割程度にとどまっています。このように、コロナ禍の影響でがん検診の受診控えが生じ、検診で見つかることの多い早期の大腸がん・胃がん症例が大きく減少し、逆に大腸がんが進行した段階で見つかる症例が増えたとの報告もあります。

便潜血検査は大腸がん検診で用いられており、大腸がん早期発見のきっかけとなる重要な検査です。今回、便潜血検査の有効性や注意点などについて解説し、がん検診の受診率向上につながればと思います。

便潜血検査とは？

便潜血検査とは、目では確認できないような微量の血液が便に混じっているかどうかを調べる検査です。血液の検出能力は非常に高く、風呂桶1杯に1滴の血液を垂らしただけ

便潜血検査陽性を指摘されたらすべきこと

便潜血検査陽性を指摘された場合には、必ず精密検査を受けるべきです。精密検査を受けなかった方は、受けた方と比べて死亡リスクが5倍になるといわれています。精密検査の方法で、最も精度が高いのは大腸内視鏡検査です。「もう一回便潜血検査をやってください」と来られる方も時々おられますが、これは一番やってはいけないことです。大腸がんは常に出血しているとは限らず、進行がんでも10%は便潜血検査陰性となるため、精密検査として便潜血検査をもう一回行うことは認められません。便潜血検査が陽性の場合には速やかに大腸内視鏡検査を受けましょう。

しかし、一般的に大腸内視鏡検査への拒否反応は強く、便潜血検査で陽性が出たにもかかわらず内視鏡検査を受けない方が多いのが現状です。「痔があるからそのせいだ」、「生理中だった」、「以前も引っかけた」精密検査を受けたが問題なかった」などが精密検査を受けない主な理由ですが、これらの理由は大腸に問題が無いことの根拠にはなりません。痔があっても精密検査は推奨されます。生理中だった場合は再検査が検討されます。以前精密検査を受けら

でも陽性になります。大腸にがんやポリープができると、便が通過する際にこすれて、ごくわずかですが出血が見られます。便潜血検査は、血便など自覚できる症状が出る前の段

階で異変を検知することができると、大腸がんの早期発見につながり、検診を受けた方では大腸がんでの死亡率が60〜80%低下することが証明されています。



大腸がん検診 (便潜血検査)のすすめ



大竹市医師会 大江 啓常さん

問い合わせ
保健医療課 ☎59-2141

医師会、薬剤師会の先生方からの、健康よろず話を、
2回にわたって紹介します。
今回は医師会の大江啓常さんに伺いました。

ここで注意が必要なのは、大腸がんであれば全て便潜血検査が陽性となるわけではないという点です。大腸がん便潜血検査が陽性となるのは進行がんの90%、早期がんの50%です。要するに、大腸がんがあっても進行がんの10%、早期がんの50%は異常無しと判定されてしまいます。これは怖いことですが、毎年検診を受けることで大腸がんの4分の3以上は救命可能な段階で見つかるとも言われています。つまり、1回検診を受けただけで安心して翌年からの検診を止めてしまうのではなく、毎年検診を受け続けることが重要です。

便潜血検査陽性になる疾患とは？

便潜血検査が陽性と判定されると不安になってしまう方も多いと思いますが、「便潜血検査陽性⇒大腸がん」というわけではありません。実際に便潜血検査陽性の方に精密検査を行って大腸がんが見つかる確率は2〜3%程度です。大腸がん以外では、良性の大腸ポリープ、大腸憩室、痔、腸炎などが発見されますが、約40%では全く異常を認めず、その要因として生理的な便中の血液（心配のない出血）、上部消化管（胃・小腸）からの出血や精密検査による見逃しの可能性などが考えられています。

潜血検査を勧めます。大腸がんに対する各種精密検査の感度は100%ではなく、最も精度が高いといわれている大腸内視鏡検査でさえ病変の見逃し率が15%という報告もあります。精密検査による大腸がんの見逃しを皆無にすることはなかなか困難であり、精密検査で異常がなかった場合でも便潜血検査による毎年の検診フォローが重要です。また、貧血や下血、血便などの目に見える出血がある場合は、上部消化管（胃・小腸）からの出血の可能性があるため、上部内視鏡検査（胃カメラ）も積極的に行うべきです。

おわりに

便潜血検査による大腸がん検診は、がん検診の中でも死亡率が下がることが最もよく証明されているにもかかわらず、便潜血検査陽性の場合の精密検査受診率は60%にとどまっており、大腸がん患者の半数が見逃されていくこととなります。便潜血検査で陽性になった方は、がんを見つけるチャンスをもたらしたようなものです。大腸がんは早く見つけられれば、かなりの確率で完治が望める病気です。必ず大腸内視鏡検査を行い、早期発見につなげていきましょう。



れた方は、いつごろ受けたかによっても方針が変わってきます。精密検査をするかどうかはケースバイケースのこともあります。迷われている場合や、分からない場合、ご自身で判断されずに、医師と相談すること

精密検査で異常がなかった場合は？

大腸内視鏡検査などの精密検査で異常がなかった場合でも、翌年の便

をお勧めします。

大竹市での **新型コロナウイルス感染症のワクチン接種** のお知らせ VOL.9

COVID-19 VACCINE

大竹市新型コロナウイルスワクチン専用電話（こちらからは予約できません）
☎28-1611 受付時間 8時30分～17時（土・日曜日、祝日除く）

接種費用（無料）
ワクチン接種（任意）

追加（3回目）接種（18歳以上の方）

現在、2回目の接種を完了してから6カ月目に到達した18歳以上の方に対して、順次、追加（3回目）接種用接種券を送付しています。

2月から、集団接種または個別接種が始まります。希望する方は、次のとおり予約してください。詳しくは、接種券と同封している案内文を確認してください。

○集団接種（広島西医療センター特設会場）を希望する場合

事前確認調査で、3回目接種を集団接種で希望した方には、あらかじめ日程を定めて通知します。それ以外の方は、2月1日（火）8時以降に、電話やウェブ（ホームページなど）により予約をお願いします。

○個別接種を希望する場合（別紙医療機関一覧）

2月1日（火）から予約を受け付けます。接種券が届いても、受付開始日になるまで、個別医療機関へは連絡しないよう、ご協力をお願いします。

医療機関一覧（追加（3回目）接種可能医療機関※対象：18歳以上の方）

医療機関名	所在地	電話	備考
山下ケアクリニック	新町1-2-7	54-0852	かかりつけのみ
しまだファミリークリニック	油見3-12-7	53-3022	
坪井クリニック	本町1-1-18	52-8337	かかりつけ優先
大和橋医院	本町2-9-4	52-3059	
本町医院	本町2-15-17	52-4427	
村井内科クリニック	南栄1-6-15	52-8138	
おおえ内科クリニック	晴海1-4-13-1F	35-5552	かかりつけのみ
佐川内科医院	玖波2-4-2	57-2233	
メープルヒル病院	玖波5-2-1	57-7451	外来患者、その家族のみ

○この一覧以外の医療機関でも接種できる場合があります。まずはかかりつけ医にご相談ください。

当日のキャンセル連絡先

集団接種 大竹市コロナワクチン集団接種予約センター
☎082-222-8326

個別接種 各医療機関へ連絡してください。
※体調の急変はやむを得ませんが、急なキャンセルは貴重なワクチンを廃棄することになりかねません。しっかりと体調管理を行い、時間に余裕をもって接種場所へお越しください。

初回（1・2回目）接種希望者の方へ

希望される場合は、新型コロナワクチン接種専用電話へ。

ワクチン相談窓口など

・広島県新型コロナウイルスワクチン相談窓口（専門的・一般的相談窓口）

電話 082-513-2847
ファクス 082-211-3006
24時間・土・日曜日、祝日対応

・新型コロナウイルスワクチン接種の総合案内
コロナワクチンナビ



出前健康講座
健康づくりを応援します

問い合わせ
保健医療課 ☎59-2153



出前健康講座の様子

保健師などが、地域のサロンや会合に出向いて健康講座を行っています。みなさんでお集りの際に、講座を取り入れてみませんか。

「体操とミニ講話」など、メニューを組み合わせてお好みの内容で実施できます。

対象 市内在住の方などで活動されているグループなど

とき 日程は、申込者と調整して決定します。

平日10時～16時のうち、希望する時間帯に、30分～1時間30分程度で開催できます。

※実施予定日の1カ月前までに申し込んでください。

会場や周知について
会場の手配や、開催の周知は、申込者側でお願いします。

内容の例
・講話（高血圧や糖尿病、睡眠、健康結果の見方、地域の健康状況など）
・体操（かんたん健康体操、ご当地健康体操「大竹で生きている」など）

新型コロナウイルス感染症対策のお願い
感染予防対策として、次の点にご協力ください。

・参加者の方の体温測定、手洗いはたは手指消毒の実施と、マスク着用
・3密を避ける環境整備など
申し込み 保健医療課へ。

発熱などで受診に迷ったとき

問い合わせ 保健医療課 ☎59-2140

新型コロナウイルス感染症は、風邪やインフルエンザの症状とよく似ており、症状もさまざまなので、判別は困難です。

「風邪かな？」と感じたら、まずは「かかりつけ医」か「積極ガイドダイヤル」へ相談してください。

受診・相談センター（積極ガイドダイヤル）☎082-513-2567（24時間対応）

夜間などの診療時間外に、急病になり、対応に困ったことはありませんか？

正しい応急手当などを知って、救急医療機関を適切に利用しましょう。

#7119（24時間365日対応）
救急相談センター「広島広域都市圏」
看護師などが、病气やけがの症状を把握して、相談対応します。

※相談無料（通話料は相談された方の負担）
つながらない場合は
☎082-246-2000

小児救急医療相談電話
夜間にこども（15歳未満）が急病になって、受診するかどうかわ迷ったとき
電話番号

大竹市内の固定電話・IP電話・ひかり電話：082-505-1399
携帯電話 #8000（局番なし）
受付時間 毎日19時～翌朝8時

小児科医師・看護師が、電話相談に応じます。症状に応じて受診するかどうかの判断の目安や、応急手当の方法がわかります。

「小児救急医療相談電話」こどもの救急」で検索
休日や夜間に診療している病院・診療所を探すとき

「救急医療NET HIROSHIMA」で検索
受診可能な医療機関を、診療科目ごとに探せます。



自分なりの無理のない範囲の運動を続けた応募者に、健康に関する景品を贈りました。

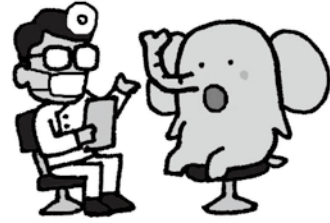
介護予防特別企画
『健康習慣をつけて健康と景品をゲットしよう!』景品贈呈式
10月の市広報で紹介した介護予防特別企画『健康習慣をつけて健康と景品をゲットしよう!』の景品贈呈式を12月17日に、市役所で行いました。当選者14人のうち、当日の出席者10人に、表彰状とともに健康に関する景品を贈りました。

なお今回、『よしがんばった賞』の抽選に漏れた方の中から、協賛企業賞をお贈りします。協賛いただきました山口県東部ヤクルト販売株式会社、日本郵便株式会社大竹市内郵便局、明治安田生命保険相互会社、大塚製薬株式会社の皆さん、ありがとうございました。

問い合わせ
地域介護課 ☎286226

令和3年度

第2回



原爆被爆者
定期一般健康診断は
お済みですか

問い合わせ
保健医療課 ☎592153

集団健診日程表

とき	ところ	受付時間
3月4日(金)	アゼリアおおたけ (大竹会館)	9時~11時 13時~15時

個別健診委託医療機関

ところ	医療機関名	電話番号
阿多田403-2	阿多田診療所	53-7061
新町1-1-25	大竹中央クリニック	52-6200
油見3-12-7	しまだファミリークリニック	53-3022
本町1-1-18	坪井クリニック	52-8337
本町1-5-6	シルククリニック	52-3313
本町2-15-17	本町医院	52-4427
本町2-9-4	親和会 大和橋医院	52-3059
玖波2-4-2	佐川内科医院	57-2233

健診の申し込み
各医療機関へ直接申し込んでください。

**受診券再発行
健診専用電話**
59-2155

(土・日曜日、祝日を除く)
8時30分から17時まで

特定健診 がん検診
後期高齢者健診

今年度の健(検)診は2月28日(月)まで

問い合わせ
保健医療課 ☎59-2153

医療機関名	所在地	電話番号	特定・後期・一般健診		胃がん 内視鏡	大腸がん	子宮頸 がん	乳がん	肝炎 ウイルス
			40歳以上	50歳以上					
大竹中央クリニック	新町1-1-25	52-6200	○	—	○	—	—	—	○
山下ケアクリニック	新町1-2-7	54-0852	○	—	○	—	—	—	○
しまだファミリークリニック	油見3-12-7	53-3022	○	—	○	—	—	—	○
本町医院	本町2-15-17	52-4427	○	—	○	—	—	—	○
坪井クリニック	本町1-1-18	52-8337	○	○	○	—	—	—	○
シルククリニック	本町1-5-6	52-3313	○	—	○	○	—	—	○
大和橋医院	本町2-9-4	52-3059	○	—	○	—	—	—	○
村井内科クリニック	南栄1-6-15	52-8138	○	—	○	—	—	—	○
広島西医療センター※2 (受け付けは午前中のみ)	玖波4-1-1	57-7151	○	○	○	○	○	○	○
おおえ内科クリニック	晴海1-4-13	35-5552	○	○	○	—	—	—	○
阿多田診療所	阿多田403-2	53-7061	○	—	○	—	—	—	○
佐川内科医院	玖波2-4-2	57-2233	○	○	○	—	—	—	○
メープルヒル病院 (受け付けは午前中のみ)	玖波5-2-1	57-7451	○	—	○	—	—	—	○

※1 対象年齢は令和4年4月1日時点。
※2 広島西医療センターの大腸がん検診と肝炎ウイルス検診は、大竹市が行う特定・後期・一般健診を同時に実施する場合のみ受診可能。



被爆者健康手帳をお持ちの方の健康管理を目的として、年2回定期健康診断を実施しています。

定期健康診断
今年度は、集団健診と個別健診にて実施しています。受診を希望する方は、集団または個別のいずれかの方法で受診してください。

なお、対象者には令和3年10月末に「第2回定期健診のお知らせ」を個別通知しています。

個別健診

2月28日(月)まで
希望する医療機関に直接申し込んでください。

- 集団健診・個別健診の共通事項**
- ①受診時は、被爆者健康手帳、または健康診断受診者証を提示してください。
 - ②交通手当が支給される場合があります。該当地区の方には個別通知の際、説明書と申請書を同封しています。受診前に読んでください。

希望による健康診断
定期健康診断のほかに「希望による健康診断」(検査項目は定期健康診断と同じ)を年2回受けることができます。また、「希望による健康診断」のうち、1回は「がん検診(胃・肺・大腸・乳・子宮・多発性骨髄腫)」に代えることができます。

希望による健康診断を実施している医療機関は広島県被爆者支援課 護グループ ☎082-513131 16へ問い合わせください。

※新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、健診を中止することがあります。